

脳神経外科専門研修

脳神経外科専門医を目指すには初期臨床研修終了後、定められた研修プログラムで通算4年以上所定の研修が必要です。この間少なくとも3年以上脳神経外科臨床に専従し、卒後・カリキュラム委員会が定める脳神経外科疾患の管理・手術経験の目標を満たすことが必須です。研修プログラムは年間500例以上の手術症例を有し、医師数・設備・指導体制等の基準を満たした基幹施設・連携施設・関連施設で構成されており、日本脳神経外科学会 subspecialty 学会からの円滑な研修支援が得られている事が必要です。現在、当院は名古屋市立大学医学部脳神経外科専門研修プログラムのうち、専門研修連携施設と位置付けられています。

当院では現在、2名の指導医が在籍し日々の診療に当たっています。一般的な頭部外傷、脳卒中の治療、脳腫瘍に対する治療、顔面痙攣・三叉神経痛に対する治療、水頭症に対する治療を中心に行っております。一般的な開頭手術、穿頭手術だけでなく血管内治療についても積極的に行っております。

名古屋市立大学医学部脳神経外科専門研修のページ

<http://www.med.nagoya-cu.ac.jp/noge.dir/training.html>